

第14期  
第10回 鳥取市校区審議会

令和2年5月11日(月) 14:00  
鳥取市役所 本庁舎6階 第7会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議事録署名委員の選任 \_\_\_\_\_委員、 \_\_\_\_\_委員

4 報 告

(1) 校区審議に関する活動報告 P 1

(2) 第9回校区審議会審議概要について P 2～3

5 議 事

(1) 本市の中長期的な校区のあり方について

(2) 千代川以西エリアの学校のあり方について

(3) その他

6 その他

7 閉 会

鳥取市校区審議会委員（第14期）

任期：平成30年10月15日～令和2年10月14日

区分	氏名	所属、職業、住所等	5/11 出欠
学識経験者 (9名)	ほんな としまさ 本名 俊正	鳥取大学名誉教授	出
	なんぶ きとし 南部 敏	鳥取市自治連合会（自治連合会会長）	出
	よねだ けいこ 米田 恵子	鳥取市小学校校長会（国府東小学校校長）	出
	おんだ まさあき 音田 正顕	鳥取市中学校校長会（桜ヶ丘中学校校長）	出
	うえた みつのり 上田 光徳	鳥取市小学校PTA連合会（美和小PTA会長）	出
	よしざわ はるき 吉澤 春樹	鳥取市中学校PTA連合会（北中PTA会長）	出
	かわぐち ゆみこ 川口 有美子	公立鳥取環境大学環境学部准教授	出
	やまだ やすこ 山田 康子	ゆうゆうとっとり子育てネットワーク代表	出
	ふくやま けい 福山 敬	鳥取大学工学部教授	出
公募 (2名)	うしお りゅういちろう 牛尾 柳 一郎	無職（北園1丁目）	出
	もりもと さゆり 森本 早由里	放課後児童支援員（河原町布袋）	出

(順不同、敬称略)

事務局	なかむら たかひろ 中村 隆弘	教育委員会事務局次長(兼)教育総務課長(兼)校区審議室長
	たけた じゅん 竹田 潤	教育委員会事務局教育総務課校区審議室主幹 (兼)学校教育課指導主事
	ほりむら さとし 堀村 聡志	教育委員会事務局教育総務課校区審議室主任

## 校区審議に関連する活動報告

No	月 日	実施時間	場所	会議名	内容等
1	R2. 2. 18 (火)	19:00 ~ 21:00	美和小学校	江山地区義務教育学校設立準備委員会	学校応援組織について、広報紙の内容について
2	R2. 2. 19 (木)	19:00 ~ 21:00	気高町総合支所2階会議室	浜村地区の教育のあり方を考える会 (第8回)	各会の進捗状況報告、要望書の内容について
3	R2. 2. 27 (木)	19:00 ~ 21:00	大和地区公民館	江山学園学校応援団 (仮称) 準備会	応援団組織について研修、今後の日程について
4	R2. 3. 24 (火)	9:00 ~ 10:00	神戸小学校	神戸小学校校旗返納式	校旗の返納
5	R2. 3. 27 (金)	16:00 ~ 16:30	鳥取市役所本庁舎	宝木小学校区のあり方を考える会・瑞穂小学校のあり方を考える会要望書提出式	宝木小学校区のあり方を考える会・瑞穂小学校のあり方を考える会要望書提出式
6	R2. 3. 28 (土)	13:30 ~ 15:30	神戸小学校	神戸小学校閉校式	中止
7	R2. 4. 10 (木)	13:00 ~ 17:00	白兔会館	鳥取市教育行政懇談会	縮小して開催 校区審議会の審議経過報告
8	R2. 4. 14 (火)	19:00 ~ 21:00	浜村小学校	浜村地区の教育のあり方を考える会住民説明会	延期
9	R2. 4. 15 (水)	19:00 ~ 21:00	浜村小学校	浜村地区の教育のあり方を考える会住民説明会	延期
10	R2. 5. 1 (金)	10:00 ~ 12:00	江山学園	江山学園創立記念式典	延期

## 第14期 第9回 鳥取市校区審議会の審議概要について

- 1 日時 令和2年2月18日(火) 9時30分～11時50分
- 2 会場 鳥取市役所 本庁舎6階 第3会議室
- 3 出席者 本名会長、南部副会長、谷口委員、音田委員、上田委員、吉澤委員、川口委員、山田委員、福山委員、牛尾委員、森本委員、民家委員  
事務局：中村次長、竹田主幹兼指導主事、大坪主任

### 4 報告事項

- (1) 第8回校区審議会審議概要について
- (2) 校区審議に関連する活動報告について

### 5 議事

- (1) 本市の中長期的な校区のあり方について

本市の中長期的な校区のあり方を考えるにあたっての、エリア分けのパターンとエリア別の学校数について議論を行いました。

#### 【主な意見】

- ・福部町を千代川以東の北側に、国府町を南側に組み込むという、全部で5つのエリア分けとした方が、地元の方や関係者の方に検討いただくときに、できるだけ色々なアイデアや可能性、選択肢を提示できるのでいいのではないかと。
- ・どの新市域においても旧行政区（旧岩美郡・旧八頭郡・旧気高郡）ごとに分けた方が考えやすいということもある。20年後を見据えると様々な状況が変化していくことも予想されることを踏まえれば、決して地域生活拠点（旧町村）から学校をなくすという前提ではなくエリア全体で学校のあり方を考えていくという意味で、5つのエリア分けの方がいいと思う。
- ・旧岩美郡において、福部と国府の生活圏が同一であれば旧行政区で分けてもいいと思うが、前回の議論で必ずしも同一ではない部分もあるとのことだったので、5つのエリア分けの方が良いと思う。
- ・児童生徒の減少率について、ある程度根拠を持たせた統計的に算出した数字であることをどこかで注釈で示しておいた方がいと思う。
- ・学校数を「0」と書くと気になるので、中学校の中に義務教育学校の後期課程を含めたような表記にした方がいいのではないかと。
- ・これから人口減少が進む中、将来的に学校を存続できるかということについて不透明な部分があり、考えられる様々な場合のことを示していくことが審議会の使命ではないかと。
- ・エリアの境界については、将来的なことを考えると少しぼかしてどちらのエリアも考えられるような場所には薄い円などにして表してもいいのではないかと。
- ・小学校の再編にあたっては、基本的に中学校区を考慮しているが、場合によっては他の中学校区の小学校が近くにある場合もある。
- ・境界をぼかすということについて、きっぱりと境界を分けたいと考える地域もある中で、ぼかすという考え方を入れるとうやむやになってしまう課題もあると思う。
- ・学校数「0」という表記は衝撃的な部分もあるので、そのあたりを本文で丁寧に説明していけばいいと思う。
- ・5つのエリア地図を見ると、本市として各エリアに義務教育学校を設置したいのではないかとというメッセージに受け取られかねない。義務教育学校は一つの可能性として考えていただければいいのではないかと。したがって、小学校・中学校・義務教育学校の3つの学校種の並記ではなく、小学校・中学校の中に義務教育学校の前期課程と後期課程を含めて示していけ

ば、「0」という表記もなくなってくると思う。

- ・現時点において、地域から学校がなくならないだろうと思っている地域もおそらく多くある中で、どこかで危機感を持ってもらう必要があると思う。学校を存続させることがどれだけ大変なことなのかということや、地域と関わっていく必要性というものを認識させるためのメッセージを伝えることも必要である。

#### 【会長総括】

6つのエリア分けの考え方は、市町村合併前の旧行政区をそのまま当てはめるというものであるが、合併から10数年経過し、さらに今後20年後を見据えてということ踏まえ、生活実態に即した形にした方がいいという意見があった。全体の方向としては、5つのエリア分けを進めていきたい。

学校問題は保護者だけの問題ではなく、学校は地域の発展の核になる部分なので、皆で考えていくことが大切だということをお話させていただくようなまとめにしていきたい。次回は、本日の意見を整理していくつかのパターンを提案させていただきたい。

#### (2)「千代川以西エリアの学校のあり方」について

城北小校区の千代川以西エリアについて、これまでの議論を踏まえ、既存の小中学校に再編していく場合と、既存の小中学校を統合して新たな義務教育学校を設置する場合の大きく2つの案について議論しました。

- ・ここで検討する考え方が、中長期的な学校のあり方にも反映されていくということを考えると、単純に既存の小中学校への再編だけの話にはなっていないと思う。
- ・既存の小学校の校舎の耐用年数のことも考慮し、校区再編を進めていくことが理想だと思う。
- ・具体的な学校の場所については、地域の方々が話し合われたり、その意向をもとに議論したりすることになると思うので、この周辺エリアに学校を配置するという示し方でいいと思う。
- ・他県には1,000人を超える義務教育学校もある中で、義務教育学校を新築し、面積が足らなければ買収するなどそれぐらい前向きな気持ちで進めていかないといけない。第14期で結論を出すべきである。
- ・大規模な義務教育学校は鳥取にまだないので、教職員や子どもにとってどうなのか少しイメージしにくい部分がある。既存の学校に再編するのであれば、校区を選択できる移行期間を設けた方がいいと思う。
- ・既存の学校への再編では、これまでも長年議論をされても実現されなかったことを踏まえると難しいと思う。義務教育学校として魅力的な学校が新築されるということであれば、今までの前提を覆す力にはなってくると思う。
- ・義務教育学校の設置の仕方については、高草中校区の小学校を全部まとめていくような方法や、新たな義務教育学校を設立するとともに高草中校区の一部の小学校について近隣の義務教育学校への再編をしていくような方法も考えられるのではないかな。
- ・義務教育学校を結論として具体的に提示するのではなく、このエリアに新しい学校を設置するという大きな考え方を提案した方がいいと思う。具体的な学校のあり方についてはそのエリアで検討されるべきものだと思う。また、耐用年数の課題は市にとっては大きな課題だが、校区問題と財政問題は別の話だと思う。さらに、千代川以西の城北小の課題に、高草中校区の全部の学校を巻き込むことについて、不安を感じる。

#### 【会長総括】

児童生徒の安全を第一に考えるということと、魅力的な学校にしていくという視点を持って進めていきたい。様々な方法について提案いただいたが、それぞれに課題があると思うので、整理して次回以降も引き続き検討していくこととする。

令和2年3月27日

鳥取市教育委員会  
教育長 尾室高志 様

瑞穂小学校のあり方を考える会  
会長 堀尾 正



### 瑞穂小学校のあり方について(要望)

全国で少子高齢化が進む中、瑞穂小学校においても児童数が減少し、現在全児童数が50人弱となっています。

この現状を踏まえ平成29年11月に「瑞穂小学校のあり方を考える会」を立ち上げ、今後の瑞穂小学校のあり方について議論してきました。

最終的に地区民の意見を取りまとめるため15歳以上の全地区民を対象に昨年7月から8月にかけて「瑞穂小学校のあり方に関するアンケート調査」を行ないました。

アンケート結果は、回答者の約7割の方が「町内の小学校の統合」を選択されました。これらの結果に基づき「瑞穂小学校のあり方を考える会」で協議した結果、「気高町内の小学校と新設統合すべき」との結論を得ました。

統合に当たっては、通学手段、環境整備など保護者を始め地区民の不安があります。これらの不安を解消するため、下記の事項を要望しますのでよろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

#### 記

1. 気高町内の小学校と新設統合をすること。
2. 児童が新しい環境に適応できるようきめ細やかな対策を講ずること。
3. スクールバスを運行し、安全で利便性の良い通学手段を講ずること。また、通学にあたり保護者に新たな経済的負担がないよう配慮すること。
4. 各地域の郷土愛を育む教育に配慮すること。

令和2年3月27日

鳥取市教育委員会  
教育長 尾室 高志 様

宝木小学校区のあり方を考える会  
会長 米田 克彦



## 宝木小学校の統合に関する要望書

日頃より、宝木校区の子どもたちのためにご尽力いただき、感謝申し上げます。

さて、宝木小学校を含む気高中学校エリアの4小学校は、13期鳥取市校区審議会中間まとめにおいて、小規模化に伴う教育効果が懸念される地域として早急な議論が必要な学校区と位置づけられました。また、同エリア内の逢坂小学校区では、気高町内の小学校との新設統合を求める要望書を平成29年8月に教育委員会に提出されています。

このような状況の中、宝木小学校区においても平成30年7月に本会を設立し、子どもたちを取り巻く現状の把握、将来の地域環境の見通し、子どもたちの教育に何が一番大切なのか様々な課題について意見を交わし、住民説明会やアンケートで意見を聴取してまいりました。その結果、気高町内の小学校を1つに統合するという本会の方針への賛成者はアンケート有効回答の66%でした。

つきましては、宝木小学校区民の意見を下記のとおり取りまとめ要望いたしますのでお取り計らいくださいますようお願いいたします。

### 記

将来のさらなる人口減少、少子・高齢化を踏まえ、子どもたちがより豊かな教育を受けたくましく成長していくために、総合的な見地から気高中学校エリアの4小学校を1校に統合し、新しい学校づくりに早急に着手して下さるよう要望します。

統合の条件、過程については次のことを尊重してください。

- 1 校舎は可能な限り通学時間に不均衡がない位置に新しく整備し、スクールバスを運行して安全で効率的な通学手段を確保するよう対策を講じること。
- 2 学校の一体感の醸成を目指した教育を推進すること。
- 3 児童が新しい環境に適応できるための対策を講じるとともに、地域の郷土愛を育む教育を継続すること。
- 4 閉校した校舎については、防災や地域振興等に有効活用するよう地域とともに検討すること。
- 5 統合に際しては、保護者、住民を含めた準備委員会を設置し、意見を十分取り入れること。